サポート情報記事

RSS Reader のフィード ソース、並べ替え、自動更新、キャッシュ

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

ソース 4

対応するフィード形式と要素 5

フィードの読み込みの仕組み 5

読み込めないソース 6

統合と並べ替え 7

自動更新 8

ブラウザー キャッシュ 8

用語 10

概要

RSS Reader は、任意の数のフィードを 1 つのアイテム一覧にまとめます。この記事では、編集者と管理者向けに、その一覧の背後にある仕組みを説明します。ソースとは何か、どのフィード形式が動作するか、複数のフィードのアイテムがどのように統合され、並べ替えられるか、どのくらいの頻度で更新されるか、ブラウザー キャッシュによって Web パーツがどのように即座に表示されるかです。設定そのものは、プロパティ ウィンドウの**ニュースフィード**グループと**動作**グループにあり、構成手順は KB10367. RSS Reader Web パーツを追加して構成する方法で説明しています。

ソース

ソースとは、3 つの属性を持つフィードで、**ニュースフィード**グループの**ソース**パネルで編集します。

フィールド	意味
URL	フィードのアドレスです。Web サイトではなく XML ドキュメントのアドレスです。必須です。
表示名	読者に表示されるソースの名前です。ソースの行のタブと、*ソース別* のグループ化で使用されます。必須です。
順序	他のソースの中でのそのソースの位置 (1、2、3...) です。タブの順序と、*ソース別* の並べ替え順でのグループの順序を決定します。

ソースの数に制限はありませんが、すべてのソースは読み込みと更新のたびにダウンロードされるため、更新頻度の高いフィードが十数個あると、表示に時間がかかり、**表示するアイテム数**の上限で表示できる数より多くのアイテムが生成されます。Web パーツあたり 3 ～ 6 個のソースが実用的な範囲です。それより大きなセットは、複数の Web パーツやページに分割してください。

ソースのアドレスは、ページ内の Web パーツのプロパティに保存されます。

Microsoft Teams では、個人用アプリは管理者が**設定の保存**で保存したソースのセットを使用し、チャネル タブは独自のセットを持ちます。

対応するフィード形式と要素

フィードは Vitextra フィード サービスによってダウンロードおよび解析され、正規化された形式でアイテムが返されます (下記の**フィードの読み込みの仕組み**を参照)。サービスは一般的な配信形式である **RSS** と **Atom** を処理し、発行元がより充実したアイテムのために使用する拡張要素を読み取ります。

アイテムの要素	取得元
タイトルとリンク	RSS または Atom のアイテムのタイトルとリンク
説明	アイテムの説明または概要。HTML マークアップは削除されます
公開日	アイテムの公開日。有効な日付のないアイテムには日付が表示されません
イメージ	Media RSS の `media:content` または `media:thumbnail`、iTunes アートワーク、または説明の HTML 内の最初の画像 (1 ピクセルのトラッキング画像はスキップされます)
作成者	Dublin Core の `dc:creator`、フィードの author 要素、または Media RSS の `media:credit` (この順序)
分類	アイテムの category 要素

これらの拡張要素を一切提供しないフィードでも動作します。Web パーツには、タイトル、説明、日付が表示されます。

フィードの読み込みの仕組み

ブラウザーで実行されるスクリプトは、相手の Web サイトがクロスオリジン要求

を許可していない限り、別の Web サイトからフィードをダウンロードできません。そのため RSS Reader は、ソース アドレスの一覧を Vitextra フィード サービスに送信します。サービスはインターネットからフィードをダウンロードして解析し、チャネルとアイテムをブラウザーに返します。ユーザーのブラウザーがフィード自体のために発行元のサーバーに接続することはありません。接続するのは、発行元から直接読み込まれるアイテムのイメージのためだけです。

管理者にとっての 2 つの影響:

- フィードはインターネットから到達可能である必要があります。イントラネットのサーバー上や VPN の背後にあるフィードは表示できません。
- ユーザーのブラウザーは `vitextra.com` にアクセスできる必要があります。要求には、ソースのアドレスと、すべての Vitextra Web パーツのライセンス確認と同じ技術的な識別子が含まれます (KB10374. RSS Reader のプライバシーとセキュリティ: フィードの読み込み方法と送信される情報を参照)。

読み込めないソース

いずれかのソースをダウンロードまたは解析できない場合 (アドレスの誤り、サーバーの停止、ドキュメントがフィードではなく Web ページである、XML が壊れている)、フィード サービスはそのソースを利用不可としてマークし、他のソースを返します。その場合 Web パーツは、

- 利用できないソースを統合された一覧から除外し、
- ソースの行でそのタブを非表示にし、
- エラーを表示しません。他のフィードは通常どおり表示されます。

フィードが再び利用可能になると、次の読み込み時にそのソースは自動的に再表示されます。除外は何も知らせずに行われるため、アドレスを誤って入力した編集者には警告が表示されません。唯一の手がかりは、タブが表示されないことです。確認するには、アドレスをブラウザーで開きます。正常なフィードでは XML (または書式設定されたフィード ページ) が表示され、誤ったアドレスでは Web サイトやエラーが表示されます。すべてのソースが失敗した場合、Web パーツは*アイテムが見つかりません。*を表示します。フィード サービス自体に到達できず、以前のデータや有効なキャッシュがない場合は、*申し訳ございません。問題が発生しました。ページを更新してやり直してください。*が表示されます。KB10373. RSS フィードが読み込まれないのはなぜですか? RSS Reader のトラブルシューティングを参照してください。

統合と並べ替え

すべてのソースのアイテムは 1 つの一覧に統合され、**動作**グループの **並べ替え順序** オプションに従って並べ替えられます。

並べ替え順	結果
新しい順 (既定)	すべてのソースのすべてのアイテムを公開日順に、最新のものを上に表示します
古い順	同じ一覧を逆順にします。最も古いものが先頭になり、年表やアーカイブに向いています
ソース別	ソースの**順序**に従ってアイテムをソースごとにグループ化し、各グループ内では新しい順に並べます



動作] グループ

更新頻度の高いフィードが表示一覧を埋め、他のソースが表示されなくなる場合があります。ソース別にグループ化しても均等にはなりません。最初のソースだけで表示件数の上限に達することがあります。表示件数を増やすか、ソースのタブを有効にして、読者が別のソースを選べるようにしてください。

日付は実際のタイムスタンプとして比較されます。フィードが有効な公開日を提供しないアイテムは最も古いものとして扱われ、*新しい順* では最後に、*古い順* では最初に表示され、Web パーツにはそれらの日付は表示されません。

読者の選択 (ソース タブ、分類タグ、検索テキスト) は並べ替えの後に適用され、**表示するアイテム数**の上限は最後に適用されます。そのため、Web パーツには、

絞り込まれ、並べ替えられた一覧の先頭 N 件のアイテムが表示されます。

自動更新

自動更新をオンにすると、ページが開いている間、Web　パーツは**更新の頻度**で指定した分数 (1 ～ 7) ごとにフィードを再読み込みします。更新は静かに行われます。読み込み中のプレースホルダーは表示されず、一覧はその場で置き換えられ、読者が現在選択しているソース　タブ、分類のチップ、検索テキストは維持されます。更新に失敗した場合 (ネットワークの停止、フィード　サービスの利用不可)、Web　パーツは既に持っているアイテムを表示し続け、次の間隔で再試行します。

人々が短時間だけ開くページでは自動更新をオフにし、長時間開いたままになるページ (ロビーのディスプレイのニュース ボード、運用チームが一日中開いているダッシュボード) ではオンにしてください。間隔は Web パーツごとに適用されます。1 つのページにある 2 つの RSS Reader は、それぞれ独立して更新されます。

メモ

更新のたびにフィード　サービスへの要求が発生し、サービスはそのためにすべてのソースをダウンロードします。100 人が開いたままにしているページで 1 分間隔にすると、1 時間に 6,000 件のフィード要求が発生します。最短の間隔は、その鮮度に価値がある場所にだけ使用し、それ以外では 3 ～ 5 分にしてください。

ブラウザー キャッシュ

読み込みが成功すると、Web パーツはフィード アドレスのセットをキーとしてブラウザーのセッション　ストレージにアイテムを保存します。ページを再び開いたとき、一致するキャッシュが 30 分以内のものであれば、最新のアイテムをバックグラウンドで読み込む間、すぐに表示できます。古いエントリは使用されませんが、30 分後に自動削除されるわけではありません。

実際には、次のことを意味します。

- 有効なキャッシュがない場合、データが届くまで読み込み中のプレースホルダーが表示されます。所要時間はネットワークとフィード サービスによって異なります。

- キャッシュはブラウザー　タブのセッション　ストレージを使用します。ブラウザーのセッション復元でキャッシュも復元される場合があるため、タブを閉じるだけでは完全な削除は保証されません。
- ソースを変更するとキャッシュは無効になります。キーはアドレスから作成されるためです。
- 更新に失敗した場合、キャッシュされたアイテムは画面に残り、エラー　　メッセージは表示できるものが何もない場合にのみ表示されます。

キャッシュには、フィード サービスから受信したとおりのフィード アイテム (タイトル、説明、リンク、イメージのアドレス) が含まれ、個人データは含まれません。共用のコンピューターでは、ブラウザー セッションの他のサイト データと一緒にクリアされます。

用語

Microsoft Teams

Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。